

国内の大学、高専等の研究機関が拠点を形成して連携し、日本原子力研究開発機構(JAEA)等の施設も活用しつつ、東京電力や原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)、国際廃炉研究開発機構(IRID)等との連携により廃止措置の現場ニーズや将来性の把握を踏まえた、中長期的な廃炉を見据えた**基礎基盤研究と人材育成を実施**。

平成27年度公募  
 公募期間:6月22日～7月30日  
 採択件数:2～5拠点程度(予定)  
 経費:1課題あたり3,000～6,000万円

- 【研究・人材育成の基本的な考え方】
- ・廃止措置現場の技術開発との分担、連携に留意した**中長期的な研究**
  - ・国内外の大学や企業との**産学連携講座の設置**
  - ・放射分析化学の研究に関する教育
  - ・遠隔操作機器の開発に関する教育
  - ・成果の移転や**育成した人材のキャリアパスにも配慮**

**採択課題**  
**研究と人材育成の実施**

H26年度採択拠点  
**東北大学、東京大学、東京工業大学**  
 (旧 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム採択校)

【研究課題例】  
 遠隔操作技術、核種分析技術、格納容器・建屋等信頼性維持、廃棄物処理・処分 等

**支援業務受託機関**  
**PD・PO**

- ・公募、審査にかかる事務
- ・WSやセミナーの開催

進捗の管理、WSや勉強会の開催協力の開催協力

**施設の活用**  
**連携・協力**  
**JAEA**

現場ニーズや研究課題例のフィードバック

連携・協力量案の提案

現場ニーズや研究課題例のフィードバック

**NDF**

- ・技術戦略プランの策定
- ・廃炉研究開発連携会議の開催


廃炉研究開発連携会議への参画

**東京電力** **IRID**

廃止措置等の実施主体との連携・協力、技術成果の移転


**JAEAが福島県内に整備する施設**

**遠隔機器・装置の開発・実証施設 (平成27年度～)**




遠隔操作機器の開発・実証(除染、観察、補修)等を実施

**廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟 (平成28年度～)**



国内外の英知を結集し、研究開発と人材育成を一体的に進める拠点

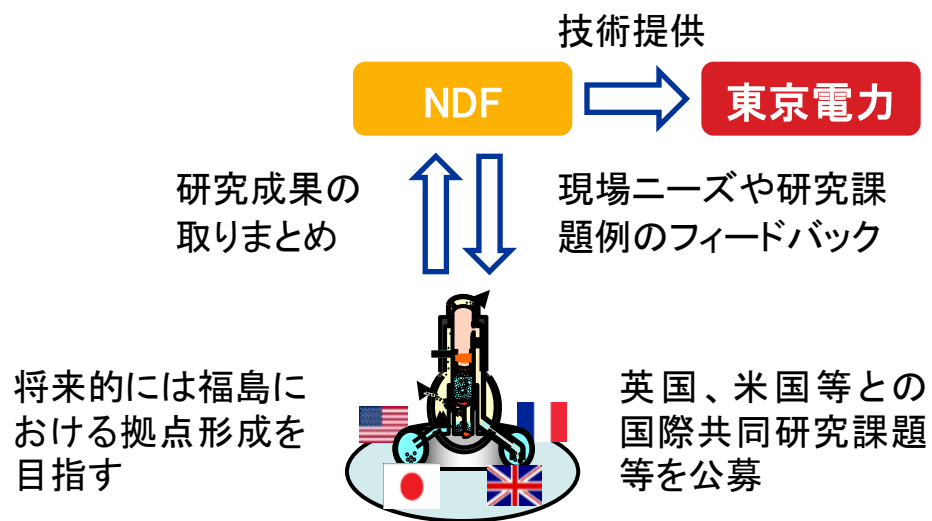
**放射性物質分析・研究施設 (平成29年度～)**



難測定核種の分析、モニタリング手法の開発等を実施

# 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 - 廃炉加速化研究プログラム -

「東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン」等を踏まえ、早急な対応が求められる廃炉等の課題に正面から向き合い、課題解決に資する。国内の原子力分野における知見や経験のみならず、国内外の英知を結集し、国際共同研究を含め様々な分野間の研究者が、従前の機関や分野の壁を越えて緊密に融合・連携することを通じて、原子力の課題解決に資する基礎的・基盤的研究活動を推進する。**国内研究**及び**国際共同研究**について公募を実施。



## 国内研究

日本国内の大学、高専等の研究機関が連携し、研究課題テーマに基づき基礎的・基盤的な研究を実施。革新性や独創性に富んだ先端的研究、他の技術分野への波及効果の高い研究を実施。

公募期間: 6月12日～7月30日  
採択件数: 4件程度(予定)  
経費: 1課題あたり3,000万円以内

## 平成27年度 研究課題(共通)

- 【テーマ1】燃料デブリ取出しに関する研究  
世界でも例のない事故炉からの燃料デブリの安全かつ円滑な取出しに貢献する研究を推進
- 【テーマ2】廃棄物を含めた環境対策に関する研究  
福島第一原子力発電所で発生している事故廃棄物の安全な貯蔵・処理・処分等に貢献する研究を推進

## 国際共同研究

英国、米国等と国際共同研究を実施。

### 【日英原子力共同研究】

EPSRC(英国工学・物理学研究会)との共同ファンドにより公募を実施。

公募期間: 5月8日～7月7日  
採択件数: 4件程度(予定)  
経費: 1課題あたり3,000万円以内

### 【日米原子力共同研究】(調整中)

DOEとの共同ファンドによる公募を実施予定。